

★ 丹後地域：チャのチャノコカクモンハマキに注意 ★

丹後地域でのフェロモントラップの誘殺数が平年より多くなっています。

多発するおそれがありますので、適期の防除を徹底してください。



チャノコカクモンハマキ：成虫



綴られた被害葉



幼虫

発生状況等

府内に設置しているフェロモントラップにおけるチャノコカクモンハマキ雄成虫の誘殺数は京丹後市で平年比多い（表1, 図1）。

表1：令和7年度チャノコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺数

場所	項目	本年	平年値
宇治市	誘殺数（頭）	243.0	1090.6
綾部市		406.0	526.2
京丹後市		351.1	41.3

※誘殺数（頭）：4月第3半旬～5月第2半旬計

防除上の注意事項

- （1）通常、第1世代幼虫ふ化期は5月末～6月初めで、年4回世代を繰り返す。
- （2）ふ化した幼虫は成長すると、葉を綴って食害するようになり、薬剤が掛かりにくくなるので、ふ化直後の若齢幼虫期の防除が効果的である。

＊丹後地域の幼虫の予想発生時期

6月第6半旬～7月第2半旬（6月25日～7月5日）

- （3）ジアミド系及びIGR剤などの薬剤の効果が低下している地域があるので、これらの薬剤の効果が低いと感じられる場合は、同系統薬剤の連用を避ける。

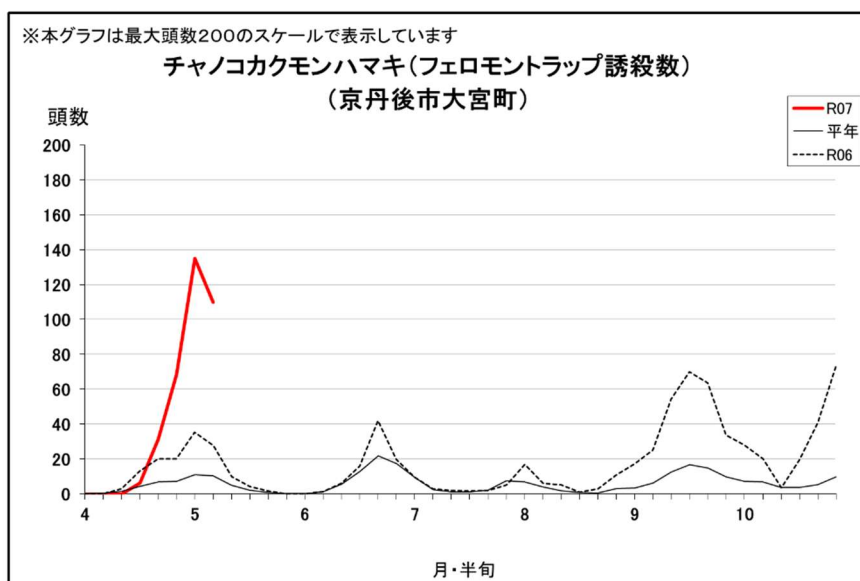
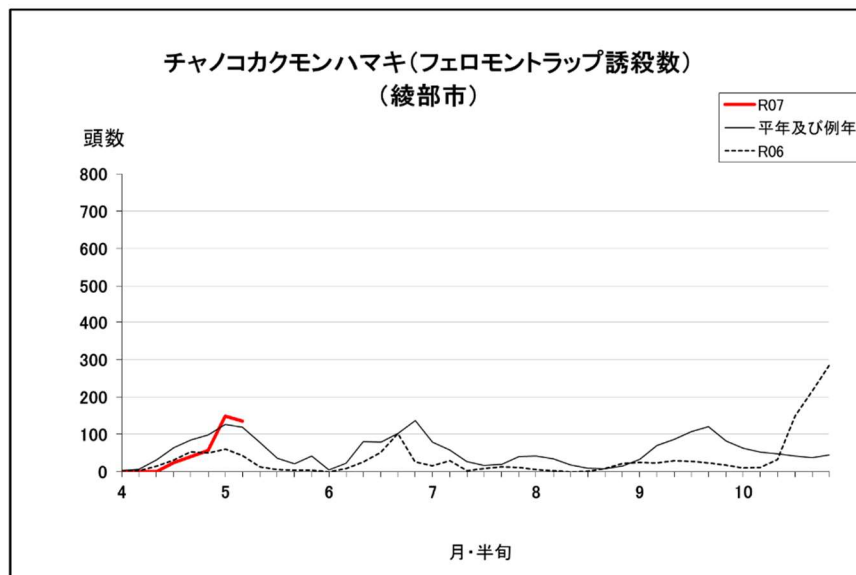
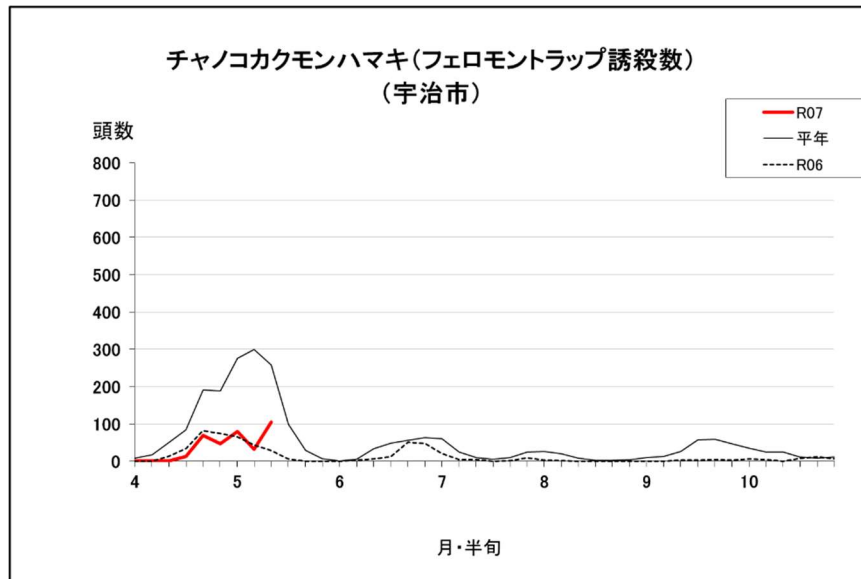


図1 チャノコカクモンハマキのフェロモントラップへの誘殺状況